

美しい和歌山へ

ト 令馨
教育学部 交換留学生 中国

和歌山に来る前に、親友や親戚に「和歌山はどこか」や「どういうところか」などとよく聞かれた。その時、自分も詳しく答えられなかった。そこで、二ヶ月前、日本語が上手ではなかった私は和歌山の魅力さを発見するという決心を抱くとともに、不安や期待を持ち、和歌山に来た。

その時、ちょうど桜が満開の時期であった。桜が舞い落ちる様子以上の美しい光景はないと思うが、景色の美しさよりも、和歌山に住んでいる人の心の美しさの方が私を感動させた。

和歌山に到着したときにはすでに夜であった。私たち三人がそれぞれ二個ずつの荷物を持ち、バスはもうなかったので、タクシーで会館に行くことにした。しかし、荷物が多すぎ、タクシー一台で行けるかどうか心配だった。運転手さんは二台分のお金が掛かると考えてくれ、なんとか全部の荷物を一台に収めてくれた。

タクシーから見ると、夜の和歌山は静かで、落ち着かせる感じがした。

会館の位置が探しにくいので、随分時間がかかった。しかし、会館のホールには誰もいなかった。その状況を見た運転手さんは私たちより焦った顔をし、先輩に電話をかけてくれ、隣のマンションに住んでいる人々も助けてくれた。

やっと、先輩が迎えに来た。みんなも胸をなでおろした。その時、初めて和歌山の人の心の美しさを感じた。特に、親や友達と離れ、一人暮らしになった私たちには、その美しさで心も暖かくなってきた。

そして、一週間後、急に自分で百円均一ショップに行きたくなり、先輩にも連れて行ってもらったことがあったので、大丈夫だと思ったのだが、あまりに道が複雑で迷子になってしまった。その時、携帯もまだ買っていなかったし、空も急速に暗くなってきた。どうしようもない状態で、ある高校生に道を聞いてみた。言葉だけではわかりにくいので、二十分ぐらいも私と自転車に乗り、会館の前まで送ってくれたのである。このことで再び和歌山の人の美しさを感じさせられた。

だが、このような美しい和歌山はなぜ中国の人にあまり知られていないのだろうか。その理由のいくつかがわかるような気がする。

和歌山に来てさえくれば、きっと人の心の美しさはわかってもらえると思うので、まずは美しい景色や和歌山の独特な特徴で人目を引くから始めたほうがいい。



確かに今の和歌山が世界に認められるために努力していることは知っている。観光客向けのホテルを建築し、たま駅長もますます人気になってきた。

しかし、外国人の観光客にとって、景色を楽しむことの他に、異文化の体験も大事なとだと思ふ。私は日本に来る前に、他の和歌山出身の日本人と梅酒を作ったことがある。あの時の梅酒の味は今でも覚えてある。そのため、和歌山に来、機会があれば、もう一度自分で梅酒を作りたいと思っていた。しかし、ネットで調べると、外国人向けの体験場所は少ない。私のような和歌山の梅酒に憧れ、和歌山へ来る観光客がきつといると思ふので、ただ飲むだけならば、満足できない。したがって、観光客が自分で梅酒を作れる場所が増やすというのはどうだろうか。

それに、和歌山の景色や心の美しさが広く知られていない原因といえは、宣伝の面でもあるのだろうか。富士山や東京などの日本の有名地は旅行ハンドバックでよく見られるので、日本といえは、すぐ富士山や東京などのことを頭に浮かべる。そのため、和歌山も外国の人に、ガイドブックや映像を通して和歌山の魅力を紹介したほうがいいと思ふ。

私も、残り時間で和歌山の魅力や美しさを体験し、帰国したあと、周囲の人に和歌山の人の心の美しさと気色の美しさを伝えたいと思ふ。

